

監事監査規程

第1章 総則

第1条（目的）

この規程は、特定非営利活動法人学生人材バンク（以下「会社」という）における監事の監査に関する基本的な事項を定めたものであり、監事の監査は、法令及び定款に定めるもののほかはこの規程による。

第2条（基本理念）

監事は、会社の機関として、理事との相互信頼の下に、公正不偏の立場で監査を行うことにより、会社の健全な経営と社会的信頼の向上に努め、その社会的責任の遂行に寄与するものとする。

第3条（職責）

監事は、理事の職務の執行又は職員の業務の遂行を監査する。

第4条（理事等の協力）

1. 理事及び職員は、監事による法令、定款及びこの規程に定める業務の遂行に協力するものとする。
2. 理事又は理事会は、監事の職務のために必要な体制の整備に留意する。

第2章 監査の実施

第5条（監査の実施）

1. 監事は、調査、閲覧、立会、報告の聴取等により監査を行うものとする。
2. 監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、又は会社の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

第6条（会議への出席）

1. 監事は、理事会に出席し、必要があると認めるときは、意見を述べなければならない。
2. 監事は、前項の会議に出席できなかった場合には、その審議事項について報告を受け、又は議事録、資料等の閲覧を求めるものとする。
3. 監事は、理事会以外に開催される重要な会議に出席し、意見を述べることができる。

第3章 報告、意見陳述等

第7条（理事会への報告等）

1. 監事は、理事又は職員が不正の行為をし、若しくは不正の行為をするおそれがあると認めるとき、又は法令若しくは定款に違反する事実若しくは著しく不当な事実があると認めるときは、遅滞なく、その旨を理事会に報告しなければならない。
2. 監事は、前項に規定する場合において、必要があると認めるときは、代表理事（代表理事に事故があるとき又は代表理事が欠けたときは各理事）に対し理事会の招集を請求することができる。
3. 監事は、理事に対し、業務の執行に当たり、会社の業務の適正かつ合理的な運営のため、業務の運営又は会社の諸制度について、意見を述べることができる。

第8条（差止請求）

監事は、理事が会社の目的の範囲外の行為その他法令若しくは定款に違反する行為をし、又はこれらの行為をするおそれがある場合において、当該行為によって会社に著しい損害が生ずるおそれがあるときは、当該理事に対し、その行為の差止めを請求することができる。

第9条（理事等からの報告）

監事は、理事又は職員が、理事又は職員が不正の行為をし、若しくは当該行為をするおそれがある、又は法令若しくは定款に違反する事実若しくは著しく不当な事実を発見したときは、その事実の報告を受けるものとする。

第10条（会計方針等に関する意見）

1. 監事は、理事が会計方針又は計算書類及びその附属明細書の記載方法を変更する場合には、あらかじめ変更の理由について報告するよう求めることができる。
2. 監事は、会計方針又は計算書類及びその附属明細書の記載方法について疑義又は意見があるときは、理事に意見を述べなければならない。

第4章 監査報告

第11条（財務諸表等の監査）

監事は、代表理事から財務諸表等及び事業報告を受領し、これらの書類について監査する。

第12条（監査報告）

1. 監事は、日常の監査を踏まえ、前条の監査を経て、法令の規定に従い、監査報告を作成する。監事の間で異なる意見がある場合には、それぞれの意見を監査報告に記載する。
2. 前項の監査報告には、作成年月日を付し、記名押印をするものとする。
3. 監事は前2項の規定により作成した監査報告を、理事に提出する。

第5章 雑則

第13条（監査補助者）

監事の職務執行の補助機関としては、監事と理事との協議によって定める。

付 則

この規定は平成 20年 5月 15日から施行する。